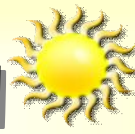




「カタール通信」



第5号

ドーハ日本人学校教諭 榊原 範久

知多市の皆さん、こんにちは

こんにちは。1月といえば、日本はかなりの寒さを感じる季節ですね。ようやくカタールも気温が下がってきました。最近のカタールは最低気温が13度、最高が25度くらいになりました。とても過ごしやすい季節になってきました。国の大部分は砂漠や土漠であるため、朝晩の冷え込みがあります。

さて、今回のカタール通信では前回に引き続き「カタールの首都 ドーハ」をテーマにお伝えします。

カタールの首都ドーハの町並み その2

前回のカタール通信では、①新市街から、③The Pearlまでを紹介しました。前回は町の中心部を特集しましたが、今回は、ドーハの町の郊外にあたるエリアを紹介します。

アラビア湾に面する東海岸は、ドーハの町の中心部といえます。王宮や官庁をはじめ、商社のビル、商業施設などが集まっています。一方、西側は今回紹介する④エデュケーションエリアや⑤スポーツシティ、そして郊外のショッピングモール、住宅地などが広がっています。



④ エデュケーションエリア

この地域は様々な教育施設、文化施設などが集まっています。近年、カタールは教育関係に力を入れるようになってきました。



〈Qatar National Convention Center〉

左の施設は2011年にオープン予定のカタールの国際会議場です。40000㎡という広大な敷地に建てられ、外観も大きな木をイメージしたユニークな建物です。世界規模の大きな会議が行われる予定だそうです。右はアメリカのテキサス大学の分校です。このほかにも海外の大学の分校や、カタールの大学施設、研究機関などが集まっています。



〈Texas A&M University〉

さらに、エデュケーションエリアの郊外へ行くと多数の現地校や外国人学校があります。



〈アラビック ボイズスクール〉



〈アラビック ガールズスクール〉

上のような現地学校が集まっています。カタール政府が提供した建物で、ほとんど同じデザインをしています。アラビックスクールは男子校と女子校に分かれています。イスラム教の習慣で、男女が一緒の場所で学んだり、交流したりすることがあまりありません。



左は私が勤めるドーハ日本人学校です。ドーハ日本人学校もエデュケーションエリアの郊外にあります。この校舎はカタール政府から無償で提供していただきました。さすがお金持ちの国カタールですね。世界中の日本人学校をみると、いずれの学校も自分たちで学費を集めて校舎を借りたりしています。このあたりから見ても、カタールの豊かさがわかります。

⑤ スポーツシティ

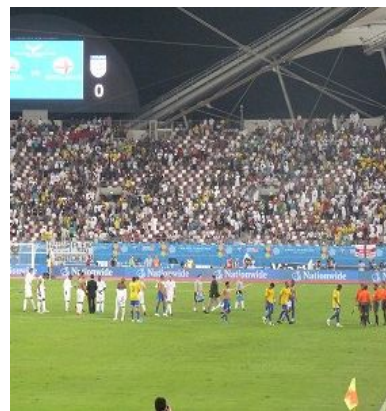
この地域には様々なスポーツ関連の施設が集まっています。カタールと言えば、2006年にアジア大会の開催国でした。今年も数々の種目の世界大会が開かれました。スポーツに適した気候とは言えませんが、スポーツがとてさかなカタールです。



〈アジア大会の聖火台〉



〈カリファスタジアム〉



〈ブラジル対イングランド戦〉

まず目を見張るのがアジア大会で使用された聖火台です。天候のよい日であれば、ドーハのいたる所から見るすることができます。真ん中がカタールで一番大きな競技場のカリファスタジアムです。11月にはここでサッカーのブラジル対イングランドの代表戦が行われました。カタールは2022年のワールドカップ開催地へ立候補しています。



〈アスパイヤアリーナ〉



〈アスパイヤの芝生広場〉

左がアスパイヤのメインの体育館です。1つの施設の中に複数のアリーナが入っている巨大な体育館です。右は広大な芝生の広場です。雨の降らないカタールですが、ここにはたくさんの緑があります。毎日スプリンクラーが忙しく回り、緑の芝生を管理しています。



〈アスパイヤの競泳施設〉



〈競泳施設の中の様子〉

アスパイヤの競泳施設は観覧席を設置した長水路が2つ、短水路が1つ、飛び込み台が1つあります。大会が開かれるとき以外は会員の人たちは自由に利用できます。ドーハ日本人学校はここで毎週水泳の授業を行っています。少し贅沢ですね。

〈コラム〉 『ドーハの悲劇1993』

カタールには⑤のスポーツシティ以外にもたくさんのスポーツ施設があります。特に多いのがサッカースタジアムです。カタールではサッカーが大人気です。そこで今回は、日本の大人の方たちには記憶にある「ドーハの悲劇」についてお話しします。

ドーハの悲劇とは…1993年10月28日、カタールのドーハで行われた日本代表とイラク代表のサッカーの国際試合（1994年アメリカワールドカップアジア地区最終予選の日本代表最終戦）において、試合終了間際のロスタイムにイラク代表の同点ゴールが入り、日本の予選敗退が決まった事を指す日本での通称。（Wikipediaより）

この出来事で、初めて「ドーハ」という町の名前を耳にした人も多いと思います。その現場となったスタジアムが、この「アル アハリススタジアム」です。



〈アル アハリススタジアムの外観〉



〈駐車場から見た外観〉



〈スタジアムの中の様子〉



〈メインスタンド側の様子〉

カタールにある他のスタジアムに比べると、古く小規模なスタジアムですが、丁寧に手入れされた緑の芝生が美しいスタジアムです。ちょうど、左下の写真のあたりで、同点ゴールを決められたとき、当時の日本代表だった中山選手がうずくまって泣いていた場面を思い出します。10月のカタールといえば、気温がまだ40度を超える暑い時期です。その中で日本代表はよく戦ったなと感心してしまいます。

